

教 育 長 様

代表者 校園名：大阪市立本田小学校
校園長名： 錢本 三千宏 公印

電話： 6581-1531 FAX： 6581-3194

申請者 校園名：大阪市立本田小学校
職名・名前： 指導教諭・今村 友美

電話： 6581-1531 FAX： 6581-3194

代表者校園 事務職員名： 大谷 由香

平成 28 年度 「がんばる先生支援」個人・グループ研究 報告書

◇ 平成 28 年度 「がんばる先生支援」個人・グループ研究について、次のとおり報告します。

1 研究コース：いずれかを○で囲んでください。

（個人研究コース）・ グループ研究 A コース ・ グループ研究 B コース

継続研究：いずれかを○で囲んでください。 継続研究（ 2 年目 ・ 3 年目 ・ 4 年目 ）

2 研究テーマ

縦（幼小の接続）と横（アクティブ・ラーニング）をデザインする音楽科指導の研究

◆ 研究内容のキーワード：研究の内容をキーワードで書いてください。（【例】学力向上、体力向上等）

アクティブ・ラーニング 協働学習 コミュニケーション I C T 機器の活用 活用する力

生涯にわたる音楽生活の基礎 音楽づくりの系統的指導 幼小連携（就学前教育から小学校教育への接続）

3 研究目的：箇条書きで端的に書いてください。

○社会で学び続けるための資質・能力をのばすため、音楽科におけるアクティブ・ラーニングを研究する。

○児童がこれまでの学習で身に付けている知識・技能を、新たな問題解決に対して活用する能力の育成を図る。

○生涯音楽を愛好する心情と、豊かな情操を養い、学びに向かう力を高める。

○園児・児童がコラボレーションして音楽活動を行うことで、幼小の効果的な学びの接続を探る。

○近隣小学校で授業実践を行い、本校児童だけでなく多くの児童が「つくる喜び」「表現する楽しさ」を体験する機会をつくり、指導者の「音楽づくり」のあり方の理解を深める。

4 取り組んだ研究内容：いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。

○音楽科におけるアクティブ・ラーニングを取り入れた学びを研究し、児童の活用する能力の育成を図るため、音楽づくりと鑑賞を中心に授業実践（公開授業研究会）を行った。

①5 年生 音楽づくりの実践「黒鍵で音楽をつくろう」 10 月 28 日 公開授業研究会実施

・複数（3～4人）で協働して音楽をつくっていくことで、一人では考えられない発想が生まれたり、一人ではできない役割のある音楽をつくりたりすることをねらいとした。また、既習の音楽をつくる手法（重ねる、ずらす、役割をつくる、リズムを変えるなど）を活用して音楽をつくる力を育成した。

②6 年生 鑑賞の実践「三拍子の音楽」 2 月 6 日 公開授業研究会実施

・音楽を形作る要素「拍の流れ」に焦点をあて、授業実践を行った。同じ 3 拍子でも拍の流れの違いによって曲想は変わることを、図形楽譜や指揮を通じて見つけ、自分たちの表現活動に生かしていくことをねらいとした。

③系統的な「音楽づくり」の指導を意識し、学期に 1 教材、音楽づくりの授業を全学年で行った。

○幼小の効果的な学びの接続を探るため、西区内の幼稚園を中心に出前授業を行った。

・音楽あそびを中心に内容を構成。音・音楽・先生の話・友達の話を「よく聞く」ことを意識させ、音、身体、思考の結びつきを大切にして指導した。

九条幼稚園・・・7月8日・12月9日・1月11日（音楽あそび・歌唱指導）

鞠幼稚園・・・10月18日・12月1日・12月16日（音楽あそび・歌唱指導）

日吉幼稚園・・・1月11日（歌唱指導） 西船場幼稚園・・12月16日（歌唱指導）

生魂幼稚園・・・10月17日（音楽あそび）

○より多くの児童に、生涯音楽を愛好する心情と、豊かな情操を養うため、近隣小学校での授業実践、教員に対する授業づくりの支援を行った。

- 多くの児童が「つくる喜び」「表現する楽しさ」を味わう機会をつくった。また、指導者の音楽科授業に対する意識改革を行った。

明治小学校・・・6月8日・7月13日・9月14日・9月21日・10月5日

10月26日・11月9日・11月16日・11月30日・12月6日

12月14日・1月13日（音楽づくり・器楽合奏指導・歌唱指導）

北津守小学校・・・5月16日・6月15日・7月14日・9月21日・10月24日・11月28日

12月19日（授業づくり支援・音楽づくり指導・器楽合奏指導・歌唱指導）

九条北小学校・・・12月13日（器楽合奏指導・歌唱指導）

井高野小学校・・・11月14日（歌唱指導） 長橋小学校・・・2月13日（歌唱指導）

5 成果・課題：申請書に記載した検証方法に基づいて取組を分析し、具体的に記載してください。

○学力の向上、道徳心・社会性の育成について

「音楽づくり」「鑑賞」の学習を通じた協働的な学びにより、21世紀型スキルで提唱されている創造力とイノベーション、コミュニケーション、問題解決の能力の育成を図った結果音楽の学力形成につなげることができた。

友だちと意見を交わしながら何度も試行錯誤を重ね作品を完成させたり、問題を解決したりした経験は、他者と協調しながらじけず対処していく力につながった。また、集団の中で良好な人間関係を形成し、自らの役割を認識して行動する能力を育てることができた。

本校5年生を対象に年度当初、年度末に行った児童の意識調査からも、学びに向かう姿勢の変容が伺える。

Q 音楽の時間、友達と協力して活動していますか。（協働性の調査）

協力している（76%⇒81%） 少し協力している（21%⇒17%） あまり協力していない（3%⇒2%）

Q 音楽の時間、こんなふうに演奏したい、こんな音楽をつくりたいと考えて活動していますか。（主体性の調査）

考へている（38%⇒56%） 少し考へている（37%⇒38%） あまり考へていない（16%⇒4%） 考へていない（5%⇒1%）

また、公開授業研究会参加者のアンケート調査結果からも、成果があったことがわかる。

Q 本日の授業で児童が主体的に活動できたと思いますか。 とても思う（93%） 少し思う（7%）

Q 本日の授業で児童は協働的に活動できたと思いますか。 とても思う（96%） 少し思う（4%）

Q 本日の授業で児童がこれまでに習得した力を活用している場面が見られましたか。 とても思う（100%）

他校の児童にも音楽を通じて、困難な課題を最後までやりとげる力を育成することができた。

・明治小学校の教員アンケートから、児童の変容について次のような回答を得た。「今までと違い、声の出し方を自分から工夫するようになった。」「進んで歌う児童が増えた。」「音楽が好きになった児童が多い。」「合奏をやり遂げたことで、自分に自信がついた児童が多い。」「とても楽しそうに音楽の活動に取り組む児童が増えた。」

・北津守小学校の教員からは、次のような回答を得ている。「自分たちで音楽がつくれるということを知り、思いや考えを表すことに楽しんで取り組んでいた。」「自分たちからつくりたいと言うようになり、ベースの音が鳴ると友だちどうしでリズムをつくってやるようになった。」「児童が明るくなった。」

○教員の指導力向上について

先進的な研究実践を実際に参観し研究会に参加すること、「音楽づくり」に特化した研修会に参加することで教科の本質に迫り、指導力の向上を図ることができた。先進的な研究実践校の教員と関わりをもつことができ、新しい教材の開発などの相談ができるようになった。

また、他校での授業実践や実技研修会を開催することで、他校の教員の意識改革や、音楽の授業改善を行うことができた。音楽の授業に対する意識がどのように変わったか調査し、次のような回答を得た。「歌う・リコーダーを演奏するということくらいしかできていなかったが、どう高めていくかを考えながら授業を考えるようになった。」「得意、不得意がわかる教科だと思っていたが、全員（どんな子も）が楽しんで取り組める教科だと感じた。」「効果的な指導のしかたや声のかけ方がわかった。」「教材研究の仕方がわかつてきないので、音楽の授業をすることが楽しい。」「音楽の授業に少し苦手意識があったが、今はなくなった。」

6 研究発表等を実施した日・場所・参加者数を記載してください。

① 日程 平成28年10月28日（金）

場所：大阪市立本田小学校

参加者数：約 130名

② 日程 平成29年2月6日（月）

場所：大阪市立本田小学校

参加者数：約 60名

上記の内容を原則としてA4判2ページで作成し、**平成29年2月24日**までに大阪市教育センター「がんばる支援」担当まで提出してください。(研究資料等を添付)